

次に、大島の活用について伺います。

大島には、かつて和井田に海水浴場があり、夏には多くの観光客が訪れ、入浴施設も整備されるなど多くのにぎわいを見せていたと記憶しています。私自身、小学生のときに、仲のよい友達と自転車で苦勞をして和井田まで行き、泳ぎ、釣りをした思い出は宝物の一つとなっています。

そのような大島の持つ魅力を今の若い世代の方が味わえていないのではと危惧いたしますことから質問させていただきます。

市民の皆様にはあまり知られていないのではと推察しますが、大島には魅力のある自然群だけではなく、鎌倉時代から室町時代にかけて、瀬戸内海で活動した村上水軍の頭領村上義弘生誕の地とも伝えられ、村上水軍の遺跡、遺構が至るところにあり、歴史的な魅力も備えています。また、大島では、秋の八幡神社秋季大祭や1月のとうど祭りなど伝統行事が行われてきた文化がございます。小学生や中学生の皆様が、課外授業の一環で大島を訪れ、このような市の歴史、文化を学ぶことは、市に愛着を感じるよい機会になるのではと考えます。

このように、自然豊かで歴史、文化のある大島ですので、市外の方にももちろんですが、まずは多くの市民の皆様にも大島を直接訪れ、その魅力を生で感じていただきたいところでございます。

ただ、皆様が気軽に大島を訪れることについて一つ懸念いたしますのは、島へのアプローチ方法の周知でございます。車が乗せられる渡海船が運航されているのは御存じのとおりですが、実際に島を訪れると、車高が低い車や大型の車が利用するには厳しいところもあります。黒島に車を止めておいて、島ではレンタサイクルを利用するなど、いろいろなアプローチ方法があるかと思いますが、気軽に大島を訪れることができるように、アプローチの紹介とその注意点についても御紹介いただければと考えます。

そこで、伺います。

本市が有する貴重な財産であるこの大島につきまして、この週末にちょっと行ってみようかななどと気軽に大島を訪れることができ、より大島を身近に感じられるような啓発などの取組について御所見を伺います。

○議長（藤田誠一） 答弁を求めます。松原経済部長。

○経済部長（松原広）（登壇） 大島の活用についてお答えいたします。

大島は、豊かな自然を有することはもとより、村上水軍ゆかりの歴史、文化などが継承された魅力あふれる地域であると認識しております。

一方で、離島であるため、大島への車両の輸送や島内での通行には一定の制約がございます。

このため、レンタサイクルをはじめとする島内での移動手段を知っていただくことは、大島を気軽に訪れていただく上で重要であると考えております。現在、市のホームページ等におきましては、大島の史跡や文化を中心に紹介を行っておりますが、島内での移動手段等についての周知は十分とは言えない状況でございますことから、今後におきましては、市公式ホームページや本市観光サイトへの移動手段等の掲載に向

け、内容の充実を図ってまいります。

○議長（藤田誠一） 黒田真徳議員。

○１２番（黒田真徳）（登壇） ありがとうございます。大島を身近に感じるための取組としてお答えいただきましたが、より大島を身近に感じてもらうには、感受性の強い小中学生の頃に大島を訪れる機会を設けていただければと考えますが、小中学校の課外授業や現在新居浜で行われているイベントを大島で開催されるなど、考えられることはありますか、お伺いします。

○議長（藤田誠一） 答弁を求めます。竹林教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（竹林栄一）（登壇） 黒田議員さんの御質問にお答えいたします。

小中学生の課外授業等で大島を活用し、より身近に感じてもらうことはできないだろうかというような趣旨であったかと思います。

昨年度は、多喜浜小学校の１年生、２年生が、大島の探索や島民の皆さんとの交流を実施しております。今年度も川東中学校の３年生が遠足で訪れ、町並みの散策や大島の歴史を学ぶなどの体験学習を行っております。

また、大島交流センターでは、簡易宿泊できる設備があり、スポーツ少年団の合宿等でも利用いただいております。大島地区内外の交流活動の場、地域の情報発信の拠点となっております。

今後におきましても、引き続きこのような取組を通じて、子供たちに大島をより身近に感じていただきたいと考えております。

○議長（藤田誠一） 黒田真徳議員。

○１２番（黒田真徳）（登壇） ありがとうございます。引き続きの取組、よろしくお願いいたします。